

◎ 活力ある農村づくり支援について（一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター）

◎ 農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 「わが村は美しくー北海道」運動 第12回コンクール審査委員会開始！

第12回コンクールでは全道から13チームの応募があり、第1回委員会から第3回委員会で各応募チームとWEB面談を行い、第4回委員会にて各賞（金賞、銀賞、銅賞）の選考を予定しています。

第1回委員会を7月28日（火）、第2回委員会を7月29日（水）に開催しました。

第1回委員会では3チーム、第2回では5チームが熱意溢れるプレゼンテーションと審査委員の方々との質疑応答が行われました。第3回



委員会は9月2日（火）、第4回委員会は10月13日（火）に行われる予定です。

第12回コンクール参加チームの情報についてはこちら↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/splaat000001mdfu-att/jtfkjs000000afcy.pdf

第1回審査委員会の情報についてはこちら↓

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/jtfkjs0000007158-att/jtfkjs000000aixy.pdf>

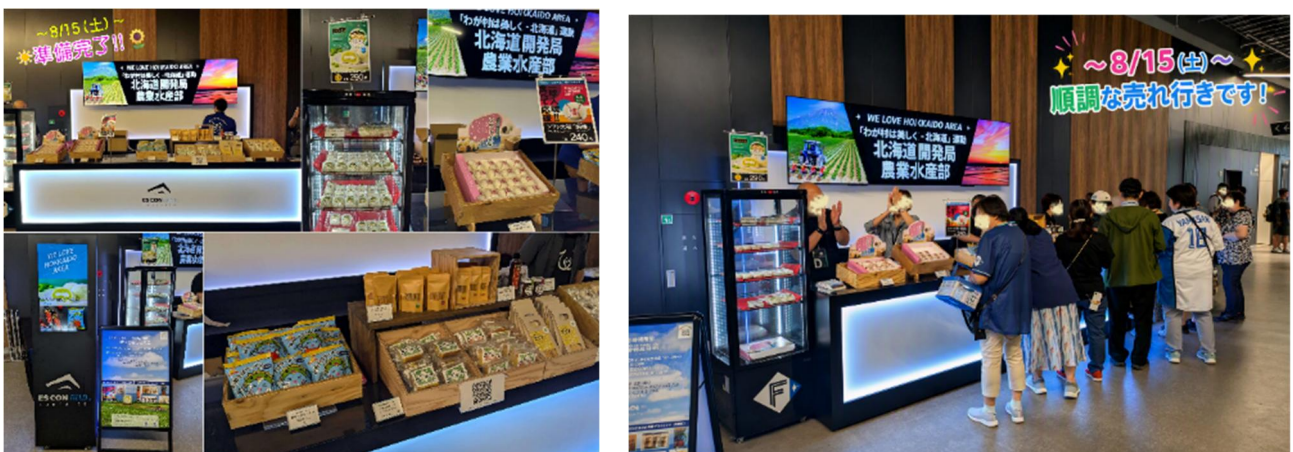
◎エスコンフィールドHOKKAIDOで「わが村は美しくー北海道」運動をPR！！

☆ 運動参加団体による地域特産品の販売会を開催しました ☆

8月14日（金）および8月15日（土）に「わが村は美しくー北海道」運動のPRとともに、運動参加団体による『地域特産品の販売会』をエスコンフィールドHOKKAIDO（北広島市）にて開催しました。



販売会を行った「WE LOVE HOKKAIDO AREA（1F FIELD AREA）」では、8月14日（金）は『いきいきかあさん土曜日運営委員会（岩見沢市）』、『黒千石事業協同組合（北竜町）』、『そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）』の3団体が、8月15日（日）は『株式会社もち米の里ふうれん特産館（風連町）』、『合同会社びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）』の2団体が出店し、“こだわりの商品”を野球観戦に訪れた多くの方々にお買い求めいただきました！



両日とも、たくさんの方に立ち寄っていただき、8月15日（土）には完売するなど、大盛況の中、終えることができました！

「WE LOVE HOKKAIDO AREA」にお越しの皆さま、開催にご協力の皆さま、ありがとうございました。



◎広報誌「開発こうほう」9月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号掲載され、9月号では第10回コンクールでNPO特別賞を受賞した「ピリカ株式会社」（比布町）が紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「ピリカ株式会社」については、わが村HPでもご紹介しております↓

http://www.wagamura-net.jp/_src/sa2022/specialaward2022_04.pdf

【わが村コラム(No.70)】

今回ご紹介するのは、天塩町で活動する『民安ダム「サクラの森づくり」の会』（第7回コンクール優秀賞受賞団体）の「植樹活動」です。

本会は、農業用ダムである民安ダムの周辺に天塩町の町木であるエゾヤマザクラを植樹して、町民の憩いの場となる「サクラの森」を整備したいという思いから、1999年に発足しました。以来、1万本の桜の植樹を目標に活動を継続しており、2025年までに約3,800本のエゾヤマザクラを植樹しています。目標とする1万本にはまだ道半ばではありますが、着実に取組が進められています。



<民安ダム>

2026年5月に開催された第28回目の植樹会では、地元の中学生のほか、町役場職員や森林管理署職員など、取組に賛同する約120人が参加しました。

植樹に先立ち、参加する中学生に対しては谷村会長が講師となり「森林の持つ重要性」や「水の大切さ」等を学ぶ事前学習が行われています。こうした取組は、自然への理解を深めるとともに、地域への愛着を育む貴重な機



<事前学習の様子>

会となっています。

植樹当日は、高さ約1.5メートルの苗木が約120本用意され、参加者は森林管理署職員の指導を受けながら、シャベルを使って手作業で植え穴を掘り、一本一本に思いを込めて丁寧に植樹を行いました。植樹はおよそ1時間で終了し、協力して植えた達成感が会場に広がりました。

当日は曇り空で肌寒さも感じられましたが、植樹作業が始まると参加者は次々とスコップを動かし、会場は活気に包ま



<植え穴の掘削>

れました。

実際に植樹を体験して、自分の手で一本の桜を植えることへの達成感を感じることができました。

また、参加者の皆さんが桜の成長を願いながら丁寧に作業する姿からは、この活動が単なる植樹ではなく、地域の未来へ思いをつなぐ取組であることが伝わってきました。

参加した中学生は、「少し疲れたけれど、自分たちが植えた桜が大きく育つのをみるのが楽しみです。」と笑顔で話しており、自ら植えた木の成長を心待ちにする様子がうかがえました。



<鹿害防止ネット設置>

会の発足当初に参加した中学生が、今では親となり、その子どもたちも植樹に参加しているそうで、こうした世代を超えたつながりを目の当たりにすると、今回参加した中学生のお子さんやお孫さんが、将来、記念すべき一万本目の桜を植える日が訪れるのかもしれないと、感慨深い気持ちになりました。このように「サクラの森づくり」の取組は、景観の向上にとどまらず、地域のつながりや次世代の意識醸成もつなげる活動となっています。



<民安ダム周辺の桜>

天塩町ではゴールデンウィーク付近の5月上旬に桜の見頃を迎えます。お近くにお越しの際は、ダムから海が眺められる珍しい立地条件にある民安ダムにぜひ足を運び、道北の春を感じてみては

いかがでしょうか。

本会は植樹だけではなく、草刈りなどの維持管理活動や環境教育活動などを行っており、ともに活動する会員を募集しています。1万本の桜を目指す取組にご関心のある方は、是非ご参加ください。

(連絡・申込先) 民安ダム「サクラの森づくり」の会

todomatu.1010@icloud.com



【わが村団体活動情報】

◎愛別の秋を彩る「第40回あいべつきのこの里フェスティバル」開催! (愛別町)

<わが村団体名:「きのこの里」フェスティバル実行委員会>

毎年9月の第1日曜日に愛別町最大のイベント“あいべつきのこの里フェスティバル”を開催しています。

今年は、焼きたての「和牛ときのこ〈盛合せ〉セット」を数量限定でご提供するほか、約4,000人分のきのこ汁を大鍋で作る「ジャンボきのこ鍋」、町産米100升を大釜でイッキに炊き上げる「百姓一揆炊き」など豪快なグルメが盛りだくさん!

また、会場では、ステージイベントやチャレンジイベントなども行われ、特産品販売や飲食店の出店コーナー、さらにはキッチンカーも大集合!ぜひお越しください!

【開催日時】 9月6日（日） 10:00～16:00 ※雨天決行

【開催場所】 愛別町農村公園（愛別町字北町 310 番地 1） ※入場無料

【お問合せ】 TEL：01658-6-5111（愛別町産業振興課商工観光係）

【HP（愛別町）】 <https://www.town.aibetsu.hokkaido.jp/03/05/1723>

◎「第53回 標茶町産業まつり」に出店します！（標茶町）

<わが村団体名：グリーン☆ツーリズム標茶>

9月6日（日）に開催される「標茶町産業まつり」に、『グリーン☆ツーリズム標茶』が出店し、程よい甘みと濃厚でミルクィな香りが特徴の「しべちゃ牛乳」を使ったミルクドリンクを販売します！

ほかにもこのお祭りは、地場野菜の販売やグルメコーナー、大抽選会、各種ステージ企画など、子どもから大人まで楽しめる内容が盛りだくさんとなっていますので、是非会場へお越しください。

【開催日時】 令和8年9月6日（日）

10:00～15:00

【開催場所】 J A しべちゃ前駐車場特設会場

（標茶町開運9丁目6）

【お問合せ】 015-485-3702（グリーン☆ツーリズム標茶）

【関係HP（J A しべちゃ）】 <https://www.sip.jp/~ja-shibecya/news/202608141.html>



◎「日本最東端の田んぼの学校」で『生育観察会』を開催！（美幌町）

<わが村団体名：網走川土地改良区>

網走川土地改良区では、美幌町内で実施している「日本最東端の田んぼの学校」において、7月26日（日）に田んぼの『生育観察会』を開催しました。

『生育観察会』はオホーツク地域の稲作を知ってもらうことや、子供たちが食育を体験することを目的に行っており、今回は美幌町やその近隣地域から14家族、計42名が参加しました。子供たちは成長したキタユキモチ（もち米品種）や、田んぼに生息するアマガエル、アメンボなどの生き物を興味津々に観察していました！



その後、美幌温水ため池に移動し、生き物観察及びボート乗りを実施しました！美幌温水ため池は、冷たい美幌川の水を一時的に貯め、太陽の熱で温める役割があり、多様な動植物が生息するビオトープにもなっています。

子供たちは、温水ため池周辺にいるアオイトトンボやコエゾゼミなどを見つけて大騒ぎ！楽しい時間を過ごしました！

今後、田んぼの学校では、9月27日（日）に稲刈り、11月8日（日）に収穫祭を予定しています。



◎～開拓者精神を受け継ぐ～「豊郷神楽奉納」が執り行われました！（網走市）

<わが村団体名：網走市豊郷神楽保存会>

8月1日（土）、網走市の豊郷（とよさと）地区で1909年(明治42年)から続く、117回目の「豊郷神社奉納神楽」が豊郷神社で執り行われました！

網走市豊郷地区に伝承される豊郷神楽は、明治42年（1909年）に第一西藻琴神社（現 豊郷神社の前身）に奉納して以来、開拓者の精神を受け継ぎ、農業生産の意欲高揚と、地域の人たちの心の安らぎを願い、戦時中も途切れることなく続けられ、今年で117年目を迎えます。

今回も、演目の舞手及び囃子奏者（大太鼓、小太鼓、篠笛）として、小・中学生や北海道開発局網走開発建設部職員を含む地域の方々が演舞に参加し、囃子奏者が演奏する中で、舞手は華やかな衣装を纏い、様々な採り物を使いこなしながら演舞を披露しました！



豊郷神楽奉納は、毎年8月1日に開催しており、来年も開催予定ですので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

【お問合せ】TEL：090-4247-2557（網走市豊郷神楽保存会事務局 井上広行）



◎『夏休み子どもハッチャギカレー教室』を開催！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>



「ななえの食を考える会」では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っています。8月4日（火）に、「ハッチャギ CURRY BAR」の盛田シェフを講師に招いた料理教室を七飯町文化センターで開催し、幼児から高校生までの子どもたち20名が参加しました。

はじめに「ななえの食を考える会」の田中会長からは、“地元の生産者さんから野菜等を提供いただいたほか、映画「空のレストラン」のモデルになった米農家さんからもお米を提供いただきました”とお話がありました。



続いて盛田シェフから、“ハッチャギカレー（キーマ）”のレシピを家庭でも簡単に作れるよ

うな手順で紹介してくれました。玉ねぎはみじん切りにせず、くし切りにして下準備を簡単にしたり、カットされたパック入りの煮トマトを使うといった工夫のほか、野菜の切り方や炒め方のコツ



を教えてもらうことで子どもたちもすぐに手際よく調理していたのがとても印象的でした。

調理が始まり、炒めてあめ色になった玉ねぎにすりおろしたしょうが、にんにくを入れて炒めると食欲を誘うよい香りができて、



さらにカレー粉、塩を入れて炒めると、調理室がカレーの香りにつつまれ、子どもたちからは「お腹が空いてきた」「早く食べたい」などの声が聞こえてきました。

ちなみに、今回の調理ポイントは、玉ねぎを大きめのくし切りにし、強火で蒸し煮にしてから油で炒めることで、最初から油で炒めるよりも時短

になり簡単にしっとりとしたあめ色玉ねぎを作ることができることと、キーマカレーを作るときに大切なことは、鍋肌を見ながら焦がさないように気を付けながら炒めることと、水分をしっかりと飛ばすことだそうです。

できあがったキーマカレーは、ひき肉が粗挽きで大きめだったことから食べ応えがあり、とうもろこしやトマト、蜂蜜を入れることでまろやかになり、子どもでも食べやすい味に仕上がっていました。



時短で簡単に作れる野菜たっぷりのキーマカレーは、暑い夏でも食欲を誘う栄養満点のレシピでした。みなさまもぜひご参考にお試してください！

『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っていますので、興味のある方はお問い合わせください。イベント情報や開催レポートはInstagramでも紹介しています。

【お問合せ】 090-9754-3612（ななえの食を考える会 田中）

【Instagram】 <https://www.instagram.com/nanashoku2015/>



◎地域イベントで『KAZUMO ちゃん焼き』を販売しました！（留萌市）

＜わが村団体名：北海道留萌高等学校情報ビジネス科（旧：北海道留萌千望高等学校情報ビジネス科）＞

「北海道留萌高等学校情報ビジネス科」の「商業研究会」では、部活動の一環としてオリジナル商品『KAZUMO ちゃん焼き』（おやき）の製造・販売を通して、地域のイベントに積極的に参加しています。

今年度はこれまでに、「かずの子のマチ留萌フェスタ」（5月）、「留萌聖徳太子祭」（6月）、「呑るもナイトフェス」（7月）、「るもい川まつり」（8月）のほか、大型客船「飛鳥Ⅱ・飛鳥Ⅲ」寄港物産展に出店しました（6月・7月に計3回）。



イベントごとにカズチー（留萌の水産加工会社が手掛けた、燻製かずの子とチーズを組み合わせたおつまみ）を使った特別商品やチョコ味を販売するなど、多くの皆さまに楽しんでもいただくことができました。また、温かい応援のお言葉をいただく中で、接客力やコミュニケーション能力、チームワークの大切さを学ぶことができました！

今後の活動としては、地場産品を使用した生徒開発商品などを販売する「商業教育フェア」（9月11日～12日 新さっぽろサンピアザ）などにも参加する予定です。

これからも地域とのつながりを大切にしながら、留萌の魅力発信に取り組んでいきます。

イベントで『KAZUMO ちゃん焼き』を見かけたら、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい！



◎『第16回 なまらウマイ！なかしべつ夢見新そば祭り』開催のお知らせ！（中標津町）

<わが村団体名：中標津手打ちそばささ藪学校>

地元の素材にこだわった打ちたての「夢見そば」を味わえる『なかしべつ夢見新そば祭り』を9月27日（日）に開催します！

牛乳を飲むだけではなく“食べる”ことで、消費拡大につなげようと誕生した「夢見そば」は、牛乳だけでそばを打つ中標津ならではのそばです。牛乳でそばを打つことで、風味豊かな味わいになるだけでなく、そば本来の栄養価をさらに高め、健康増進にもつながることが期待されています。

また、そば粉やつなぎ、牛乳はすべて中標津産のものを使用しています！



会場では、そば早食い大会やそば打ち体験、地元特産品の販売など、楽しい企画が盛りだくさん！

この機会にぜひ、打ちたてならではの香りと味わいを楽しめる「夢見そば」をご賞味ください。



【開催日時】 令和8年9月27日（日）10：00～15：00（11：00～新そば試食会）

【開催場所】 中標津町総合文化会館「しるべっと」コミュニティホール

（中標津町東2条南3丁目1-1）

【お問合せ】TEL：0153-73-1145（中標津手打ちそばささ藪学校）

【facebook】<https://www.facebook.com/groups/sobasasayabu/>

【blog】<https://sasayabu.exblog.jp/>

【活動支援メニュー】

○令和8年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和8年度（後期）の助成募集を開始する予定です。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【助成募集期間（R8後期）】令和8年7月上旬～令和8年12月末まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として選考により予算の範囲内で助成

【HP】<http://wagamura-net.jp/>

○活力ある農村づくり支援について（一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター）

一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センターでは、活力ある農村づくりを進めるため、地域の創意工夫や主体性に基づく、地産地消の推進、地元農産物の付加価値の向上、農村環境の保全などに取組む団体に対し助成を行っています。

助成の詳細はHPをご覧ください。

【申込期限】令和8年11月末まで

【助 成 額】 必要経費が100千円までは全額、100千円を超えた場合は越えた分の1/2を加算し、200千円を限度とする。

【H P】 <https://www.hamc.or.jp/support/katuryoku.html>

○農山漁村の案内に役立つ〔便利帳〕（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する〔便利帳〕を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（R8年度開催予定分 テスト販売期間：第4四半期（R9年1月～3月））

令和8年10月1日（木）～ 令和8年11月10日（火） ※国内店舗販売分

令和8年9月1日（火）～ 令和8年9月20日（日） ※シンガポール店販売分

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、
ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

新たな環境での生活が始まってから、早いもので5か月が経ちました。当初は慣れないこともあり、戸惑う場面もありましたが、少しずつ周囲の環境にも慣れ日々の流れがつかめるようになってきました。振り返ると、あっという間の5か月だったように感じます。

そんな中、先日初めて馬術競技を観戦する機会がありました。競技前は「馬が障害を飛び越える競技」という程度の認識しかありませんでしたが、実際に目にするとその印象は大きく変わりました。馬の力強い走りとしなやかな動きはもちろん、騎手が手綱や姿勢で細やかに合図を送り、馬と一体となってコースを進む姿がとても印象的で、障害を飛越する瞬間には会場全体に緊張感が漂い、無事に飛び越えたときには自然と見入ってしまいました。日頃から積み重ねてきた信頼関係や訓練の成果が感じられ、人馬一体という言葉の意味を実感した貴重な体験となりました。

これからも新しいことに積極的に触れながら、多くの学びや発見を大切にしていきたいと思えます。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎14階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。

※写真の掲載にあたっては、事前に許可を得ております。
